

## 平成18年度当初予算 重点プログラム別概要

絆5：県民との協働でつくる一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会づくりプログラム

(主担当部局：生活部)

- (1) ひとにやさしいまちづくり支援事業
- (2) 子ども一人ひとりが尊重される学校づくり事業
- (3) 人権相談体制充実支援事業
- (4) 男女共同参画の視点で進める地域づくり事業
- (5) 男女共同参画地域エンパワメント支援事業
- (6) ユニバーサルデザインアドバイザー地域展開支援事業
- (7) 地域住民や市町村によるDV防止取組支援事業

<プログラムの事業費>

(単位：千円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	3か年計
当初計画	61,203	46,000	48,000	155,000程度
見直し後	19,075	81,879	53,258	154,212

注：「見直し後」の16年度は決算額、17年度は予算現額、18年度は当初予算要求額

<事業目標>

目標項目		平成16年度	平成17年度	平成18年度
(1) ひとにやさしいまちづくりの活動組織数(累計)	目標値	9組織	18組織	18組織
	実績値	6組織	12組織	
(2) 「子ども人権ネットワーク」の設置数	目標値	23	46	69
	実績値	25	46	
(3) 講座受講者数	目標値		600人	720人 (+120人)
	実績値		1,043人	
(4) 男女共同参画の地域づくり活動への参画者数	目標値	2,800人	2,900人	3,000人
	実績値	3,787人	3,000人	
(5) 男女共同参画推進員による市町村等への地域情報の提供数	目標値	300件	400件	500件
	実績値	328件	400件	
(6) ユニバーサルデザイン活動団体所属会員数(累計)	目標値	400人	530人	680人
	実績値	409人	510人	
(7) セミナー(基礎コース)修了者数(累計)	目標値	40人	80人	120人
	実績値	41人	81人	

注：17年度実績値は11月末現在での見込み値

(3) 17年度の進捗状況を踏まえ、18年度の目標値を上方修正しました。

<進捗状況(現状と課題)>

・人権や男女共同参画、ユニバーサルデザイン(UD)、ドメスティック・バイオレンス(D

V) 防止の視点による地域社会づくりについて、住民主体の活動への支援や市町村等との協働による取組を推進し、県民意識の醸成を図っています。

- ・地域住民による主体的な人権啓発活動が推進されているのははじめ、市町村において男女共同参画を推進する計画等の検討が進められています。また、UD活動団体の所属会員数も概ね順調に伸びており、また、DV対応指導者の着実な養成・確保が図られています。
- ・地域におけるこうしたさまざまな分野の活動が充実し、より広がりのある取組となるよう、進めていく必要があります。

#### <平成18年度取組方向>

- ・一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会の実現に向けて、こうした各分野における住民主体の多様な活動や市町との協働による取組が相互に連携するなど、一層の広がりをもち、充実した取組として各地域で展開されるよう、情報提供や事業ノウハウの提供など、効果的な支援を推進していきます。

#### <主な予算要求事業>

ひとにやさしいまちづくり支援事業【18年度事業費 9,000千円】

一人ひとりが尊重されるまちづくりの視点からの身近な課題解決のため、地域住民等が主体的に取り組む活動に対して支援を行います。

子ども一人ひとりが尊重される学校づくり事業【18年度事業費 23,211千円】

子ども一人ひとりが学校や地域でいきいき過ごすことができるように、子ども・保護者・地域住民が参加する「子ども人権ネットワーク」を構築するなど、学校・地域・家庭が一体となった人権教育を推進します。

人権相談体制充実支援事業【18年度事業費 2,374千円】

地域において住民の身近なところで相談対応ができる環境づくりを推進するため、NPOなど民間の相談員のノウハウ等を向上でき、民間の相談員と行政の相談機関とのネットワークを構築できる講座等を開催します。

男女共同参画の視点で進める地域づくり事業【18年度事業費 6,913千円】

地域住民が主体となった、各地域の特性を生かした男女共同参画を推進する地域づくり活動への支援を行います。

UDアドバイザー地域展開支援事業

【18年度事業費 5,512千円】

ユニバーサルデザインのまちづくりの普及を図るため、講演会やPR活動などの普及事業をUDアドバイザーによる市民団体に委託し実施します。